

めざす教師像

- 一人一人が情熱と向上心を持ち、課題解決に向けチームで協働する教職員
- 児童の「よさ」を認め、見守り、知・徳・体の成長を促す教職員

めざす児童像

- 進んで学び、目標に向かってねばり強く努力する児童
- 思いやりの心を持ち、自分に自信を持って主体的に行動できる児童
- 基本的生活習慣を身に付け、心身ともに健康な児童

めざす学校像

- 児童が学校生活を楽しみ、教職員が働きがいを感じる学校
- 保護者、地域に信頼され、その期待に応える学校

本校で育成をめざす資質・能力

- 自己調整力 情報活用能力 自主・自律 自己指導能力 人間関係形成
- 問題発見・解決能力 社会参画意識 郷土理解(愛着)力

学校づくりのキーワード(R8 学校テーマ・学校課題)

“あっけし”大好き厚小の子～合い言葉は「自分〇〇」

自律し、自ら動く。たくましく、やさしい、ふるさとを愛する子の育成

北海道教育の基本理念

「自立」
「共生」

釧路管内教育推進テーマ

CREATE
—つくる—を軸とした教育の推進

重点1 豊かな人間性を育み、自己肯定感と主体性を高める指導の充実

- ① 地域への理解と愛情を深め、地域と関わろうとする児童を育てるふるさと教育の推進
- ② 「厚小のあたりまえ」の指導を通した学習規律、生活規律の定着
- ③ ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による自立した学習者の育成
- ④ 豊かな心を育む道徳教育と体験活動、読書活動の充実
- ⑤ 児童同士の良好な人間関係の構築と、自己指導能力を育む生徒指導の充実
- ⑥ 健康な心と体、自ら健康で安全な生活をつくりだす力を育む健康安全教育の充実(生活習慣、体力向上、食育、防災教育)
- ⑦ 支援を必要とする児童一人一人のニーズに応じた適切な支援(特別支援教育の充実)

重点2 家庭・地域、保育所・中学校・高等学校、CSとの連携

- ① 積極的な情報発信と地域とともにある学校
- ② 家庭・地域、コミュニティ・スクールに対して説明責任を果たせる教育活動の推進
- ③ 学校間接続・学びの連続性を意識した取組の充実(小中連携の推進)

重点3 チームとしての学校づくりとマネジメント機能の強化

- ① 教職員一人一人が役割を自覚し、ブロック・分掌内外における協働的な学校運営
- ② エビデンスに基づいた検証サイクルを運用し、各種評価を通じて改善を図る
- ③ 「北海道アクション・プラン(第3期)」に基づいた働き方改革の推進

厚岸町教育

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健康な身体力の育成
- ふるさと・キャリア教育の推進
- 今日的課題への対応と教育環境の整備



具
体
化

- ICTを積極的かつ効果的に活用するなどし、「見通し」「振り返り」の場面を設定したわかる・できる日常授業の実施
- 家庭学習の手引きをもとにした「できる宿題」と「自主学習」の習慣化
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 少人数指導、通級指導による個に応じた指導の充実
- 図書館司書と連携した「心の糧、知識の源泉」となる読書環境づくり

- 多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとする児童会活動
- 「考え、議論する道徳」「多様な体験活動」等を通して、道徳性や主体性を高める指導
- いじめ見逃しゼロの徹底といじめ未然防止・早期発見・早期対応
- いじめ調査、Q-U調査の実施と教育相談活動の充実、援助希求的態度の育成
- 心と知恵を磨く情報モラル教育の推進

- 生活リズムチェックの実施と基本的な生活習慣の定着
- メディア等との接触時間に関する実態を踏まえた指導
- 体力テストの結果を踏まえた体力向上の取組
- 食に対する正しい知識の習得や、自他の健康な食生活の実現、感謝の心の育成

- インクルージョン精神(共生社会)の醸成
- 自立と社会参加を見据えた指導の充実
- 教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供(合意形成)
- コーディネーターを中心とした校内委員会の充実
- 保育所、中学校、関係機関との連携

健やかな体

確かな学力

つながりを生む
教育活動の推進

豊かな心

人の
つながり

心の
つながり

学びの
つながり

特別支援教育

◆保育所・中学校とのつながり◆

- 学習・生活指導における接続や学びの連続性を意識した取組
- 円滑な接続を意識した連携の取組
- 小1プロブレムの解消

◆学びのつながり◆

- 教科横断的な視点での教育内容の組織的配列
- 教科等の学びを活かした「総合的な学習の時間」の充実
- ふるさと教育・地域学習の充実

◆家庭・地域とのつながり◆

- 学校だより、学校ホームページ、懇談会・説明会等での情報発信
- 地域行事への積極的な参加
- コミュニティ・スクールとの連携

教育活動の推進にあたって

- 1 本校のよさ、伝統的な校風を受け継ぎ、さらに向上させるために、教育活動の意義・ねらいを問い直した計画・実施・評価・改善に努めます。
- 2 児童・保護者そして地域の皆さんに、十分に共感・納得してもらえる説明を学校として果たすよう努めます。
- 3 学校組織として全ての教職員が課題意識・協働意識を共有し、教職員個々の専門性や個性を発揮して指導にあたるよう努めます。
- 4 安心・安全な豊かな学びを支える教育環境の整備に努めます。
- 5 教職員のキャリアに応じた研修の充実や、子どもたちに対して効果的で質の高い教育活動を行うための働き方改革の推進に努めます。